

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒211-8668 神奈川県川崎市中原区下沼部 1753

ルネサス エレクトロニクス株式会社

問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-H8*-A423A/J	Rev.	第1版
題名	H8/36109 グループハードウェアマニュアル誤記訂正のご案内		情報分類	技術情報	
適用製品	H8/36109 グループ	対象ロット等	関連資料	H8/36109 グループ ハードウェアマニュアル (RJJ09B0217-0150 Rev.1.5)	
		全ロット			

H8/36109 グループハードウェアマニュアルにおいて誤記がありましたので訂正します。

1. 5. 2. 4 クロックコントロールステータスレジスタ(CKCSR)

【変更前】

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明			
7	PMRC1	0	R/W	OSC 端子機能選択ビット 1、0			
6	PMRC0	0	R/W	PMRJ1	PMRJ2	OSC2	OSC1
				0	0	I/O	I/O
				1	0	CLKOUT	I/O
				0	1	Hi-Z	OSC1 (外部クロック 入力)
				1	1	OSC2	OSC1

【変更後】

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明			
7	PMRC1	0	R/W	OSC 端子機能選択ビット 1、0			
6	PMRC0	0	R/W	PMRJ1	PMRJ2	OSC2	OSC1
				0	0	I/O	I/O
				1	0	CLKOUT	I/O
				0	1	(オープン)	OSC1 (外部クロック 入力)
				1	1	OSC2	OSC1

2. 6. 1. 3 システムコントロールレジスタ3(SYSCR3)

【変更前】

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
7	STS3	1	R/W	スタンバイタイムセレクト 3 SYSCR1 のSTS2~STS0 とともに待機時間の設定を行います。設定値と待機ステート数の関係は表6.1 のとおりです。
6~0	—	すべて1	—	リザーブビットです。リードすると常に1 が読み出されます。

【変更後】

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
7~1	—	すべて1	—	リザーブビットです。リードすると常に1 が読み出されます。
0	STS3	1	R/W	スタンバイタイムセレクト 3 SYSCR1 の STS2~STS0 とともに待機時間の設定を行います。設定値と待機ステート数の関係は表 6.1 のとおりです。

3. 17. 8. 2 マーク状態とブレークの送出

【変更前】

PMR1 のTXD、TXD2 ビットまたはSMCR のTXD_3 ビットが1 のとき、TXD 端子はPDR とPCR により入出力方向とレベルが決まるI/O ポートになります。これを利用してTXD 端子をマーク状態にしたりデータ送信時にブレークの送出をすることができます。TE を1 にセットするまで、通信回線をマーク状態(1 の状態)にするためには、PCR=1、PDR=1 を設定し、TXD ビットを1 にセットします。このとき、TXD 端子はI/O ポートとなり1 が出力されます。一方、データ送信時にブレークを送出したいときは、PCR=1、PDR=0 に設定した後TXD ビットを1 にセットします。このとき、現在の送信状態とは無関係に、TXD 端子はI/O ポートになり、TXD 端子から0 が出力されます。

【変更後】

PMR1 のTXD、TXD2 ビットまたはSMCR のTXD_3 ビットが0 のとき、TXD 端子はPDR とPCR により入出力方向とレベルが決まるI/O ポートになります。これを利用してTXD 端子をマーク状態にしたりデータ送信時にブレークの送出をすることができます。TE を1 にセットするまで、通信回線をマーク状態(1 の状態)にするためには、PCR=1、PDR=1 を設定し、TXD ビットを0 にクリアします。このとき、TXD 端子はI/O ポートとなり1 が出力されます。一方、データ送信時にブレークを送出したいときは、PCR=1、PDR=0 に設定した後TXD ビットを1 にセットします。このとき、現在の送信状態とは無関係に、TXD 端子はI/O ポートになり、TXD 端子から0 が出力されます。

以上